

～ タイムリーな情報を、いち早く皆様にお知らせします ～

## ◆時代が必要とする中核人材育成研修「霧研」

30年続いているBSOの人材育成研修「霧研」は、その時代に合ったカリキュラムを設定し、時代が必要とする中核人材育成を行っています。

現代は激動時代に突入し、今までの延長のビジネスを続けていくだけでは難しい時代です。このような時代には、果たすべき役割を認識しトップと二人三脚の組める人材、実践力があり挑戦できる人材が必要です。霧研では、座学だけでなく、実践を交えた課題研究を行います。また、メンバーで視察企画・実行までを行うため、**集団をまとめる力やプロデュースする力を身に付けて**頂きます。また、参加者が異業種のため、今までとは異なる視点や考える切り口やヒントを掴んで頂きます。そして、霧研メンバーや、視察によって国内外の経営者たちと接して、交流することでビジネスの基礎である「人脈づくり」を体感する機会を持てる場でもあります。

第31期霧研が4月よりスタートします。ご興味のある方はぜひお問合せください。

\*\*\*\*\*

- ・対象者：中核人材
- ・期間：2017年4月～2018年3月
- ・開催方式：合宿方式（1泊2日）15：00～翌11：00
- ・開催頻度：毎月1回
- ・開催場所：大阪・鹿児島・高松・東京

※年に3回、各地で合同開催を行います

## ◆旧時代と新時代の大戦

現代の世界的混乱は、旧概念と新概念の衝突で起こっている。今までの戦争や紛争は、民族対民族、国対国、宗教対宗教、文化対文化であった。力の衝突であり、力の強い方が次の時代を創った。しかし、文明対文明の軋轢から出た戦争・紛争ではなかった。現代のひとつの文明のなかで新しい文明の誕生の色々な兆しが散発的に色々な場面でゲリラ的に起こるといった特徴を持っている。また、今までの戦争や紛争と根本的に異なるのは、「力」の衝突ではなく、技術の発展を活用した「チエ」の衝突である事だ。この技術のなかでも情報技術を駆使した新しい文明の兆しになるような概念である。新しい社会という氷河にも近い、この大きな流れのなかで、どのように生きて行くかが現代人や企業には問われている。(西山)

## ◆現代に生きる方策

新旧の概念が混在する社会での生き方には、つぎの5つが考えられる。

1. 旧概念の延命に努める
  - 1) 官民学を問わず保守派といわれる人々が、このジャンルに該当する
  - 2) 旧概念の普遍性と正当性を信じて、新概念の誕生する兆しを攻撃する
2. 旧概念の保護の下で生きる
  - 1) 時代的变化が起きていることを知らない
  - 2) 保守的な社会に賛同したり、盲目的に追従する
3. 新概念の誕生に加わる
  - 1) 旧概念の中で拡大する矛盾を感じ、その矛盾を解決すべく行動する
  - 2) 新概念を存続定着させる事が出ず失敗する事が多い
4. 新概念で生きる場面を探す
  - 1) 旧概念の中で生きていけず、新しい概念の誕生に飛びつく
5. 新旧概念の衝突する混乱のなかで放浪する
  - 1) 概念の変化が分からず、右往左往する
  - 2) 大半の人々は、このジャンルに属する

## ◆流通企画研究所が活動開始しました

BSOは新時代に向けて、海外化と新事業開発をお手伝いしています。中堅中小企業では、これらに取組みたくても人材や時間などの制約があり、取組む必要性を感じていても取組めず、苦勞されている状況だと思えます。そのため、BSOは海外化と新事業開発と一緒に取り組む専門体制として「流通企画研究所」をスタートさせました。

流通企画研究所では、今までもたついていた貿易関係を中心に、国内外の企業とのマッチングやテーマ案件毎に協働支援を行い、軌道に乗るまで代行・支援を行います。早速、日越流通開発のテーマにテト（旧正月）明けから取組みます。

詳しい記事やその他の情報は、BSOのホームページ <http://www.bso.co.jp> へ

情報てんこもりは、弊社の協働活動（受託事業・企画事業・出版事業）のタイムリーな情報をいち早く多くの方々に知っていただく為に発信しております。（お問い合わせはshienkikaku@bso.co.jpまで）